

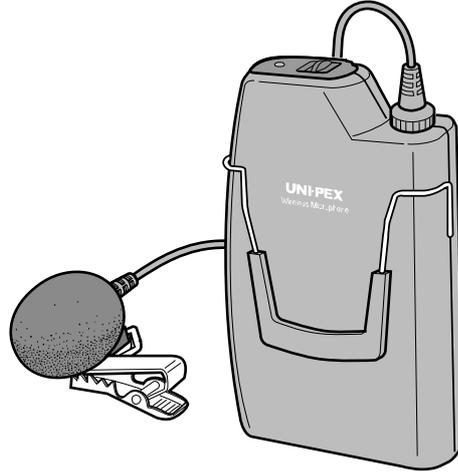
UNI-PEX

取扱説明書

800MHz帯・ツーピースタイプ

ワイヤレスマイク

WM-8100A



このたびは、ワイヤレスマイクをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

安全上のご注意

必ずお守りください

ご使用前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。

お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容(上図の場合は分解禁止)が描かれています。



この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



この記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	
分解 / 改造はしない 火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。	
航空機内では電源を切る 運航の安全に支障をきたす恐れがあります。	
医用電気機器に近づけない (手術室、集中治療室、CCU*等には持ち込まない) 本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。*CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。	
自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くで使用しない 本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。	
電池は充電・分解ショートしない 電池の破裂や液漏れにより火災、けが、やけどの原因になります。	

 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。	
電池は極性 (プラス + とマイナス -) を正しく入れる 間違えると、電池の破裂や液漏れにより火災、けがや周囲を汚損する原因となります。	
充電式電池は使わない 万一、内部が破損していた場合、発火の原因になります。	

免責事項について

当社は下記の事項に関して一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
 お客さまの故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害または本製品の破損など

本製品に直接または間接に関連して生じた、偶発的、特殊的、または結果的損害・被害
 本製品のお客さまご自身による修理、分解または改造が行なわれた場合、それに起因するかどうかを問わず、発生した一切の故障または不具合により生じた損害

本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、使用ができないことなど
 による不便・損害・被害

上手な使いかた

取り扱い上のお願ひ

技術基準適合証明ラベルについて

本機は、電波法で規定される技術基準適合証明品です。機器一台一台にその証明番号(証明ラベル)が貼ってあります。みだりに剥がしたり損傷の無いようご使用ください。

放置しないで

アンプの上や夏の閉め切った車内のような温度の高いところや、湿度の高いところには放置しないでください。

乾電池は正しく使う

使いかたを誤ると、電池の液漏れで機器が腐食したり、電池が破裂する恐れがあります。充電、ショート、分解、加熱、火の中への投入はやめてください。

使用上のお願ひ

マイクと口との距離

マイク部は、マイククリップでネクタイや襟などに止めてください。止める位置はできるだけ口もとに近い方が、より明瞭な音質が得られます。

ハウリングについて

せまい室内でしかもスピーカーの近くで使用するとハウリングをおこすことがあります。その場合は受信機のボリュームをしばらく、マイクの使用位置を移動してください。

強い電波を発する機器に近づけない

携帯電話など強い電波を発する機器に近づけると、ノイズが発生します。(携帯電話は同じ800MHz帯を使用しているため、混信します。)

使用乾電池について

オキシライド乾電池は初期電圧が高いため、本機には使用しないでください。

取り扱いはていねいに

床に落としたり、物に当たったりしないでください。

違法改造しないで

本機を分解したり、内部の部品に触ったりしないでください。改造することは法律で禁じられています。

マイク本体に水は禁物

水に濡れた場合はすぐに電源スイッチを切り、乾いた布で拭いてください。

使用後は

電源スイッチを切ってください。また、長時間(2週間以上)使用しないときは、乾電池を取り出してください。

本体クリップについて

本体クリップに金属物が触れるとノイズが発生することがありますので、ご注意ください。

本体の収納について

本体をズボンのポケットなどに入れて使用してください。ポケットに金属物が入っていると、電波が弱くなり雑音が発生することがありますのでご注意ください。

雑音が入るときは

- ・ワイヤレスアンテナに近づけてご使用ください。ただしワイヤレスアンテナから2m(送信出力6mW時は3m)以内に近づくと、使用していないチャンネルへの飛び込みや混信など受信機が誤動作することがあります。
- ・受信機やワイヤレスアンテナはデジタル機器や高周波雑音のでる機器などから、できるだけ離して設置してください。(5m以上)

マイクどうしは、50cm以上離して使用する

- ・2本以上を50cm以内で同時に使用すると、他の受信機へ混信することがあります。

各部の名称と説明

電源表示灯（赤）

電源スイッチを入れますと点灯します。

- ・電源表示灯が遅い点滅または消灯する場合は、使用している乾電池が消耗しています。新品の乾電池に交換してください。
- ・電源表示灯が早く点滅する場合は、周波数設定が正しくできていないこと(5ページの周波数表にないグループ、チャンネルに設定している)を表しています。必ず電源を切り再度周波数設定をしてください。

電源スイッチ

マイクプラグ

本体のマイクジャックに差し込み、締付ねじを矢印の方向にまわし、しっかり締め付けてください。



本体クリップ

電池ケース

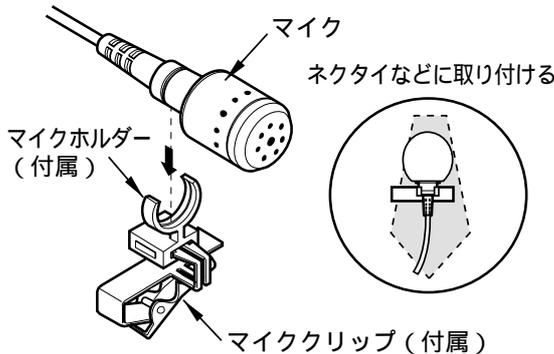
ふたをはずし、内部の極性表示に従って電池を入れてください。また、送信周波数を設定するためのグループ/チャンネル設定スイッチもこの中にあります。

マイク部

風防（付属）

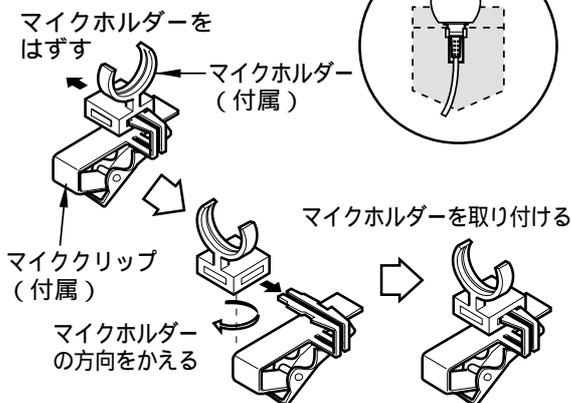
マイククリップ

1. マイクホルダーをマイクの溝に合わせて差し込む



2. マイクホルダーを衣服に合わせて付け替えることもできます。

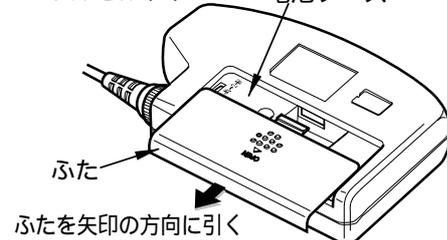
例. ポケットなどに取り付ける場合



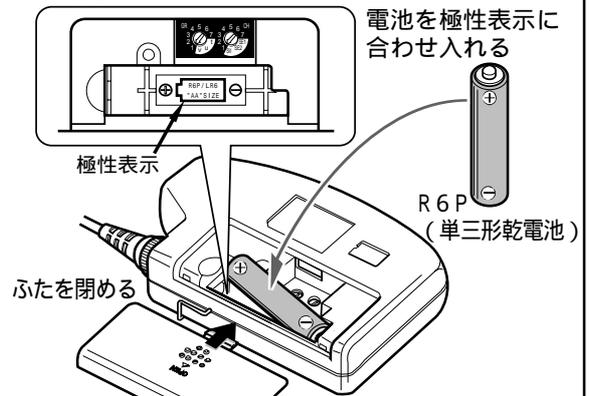
乾電池の入れ方

お願い
電池を交換または、入れるときは、必ず電源スイッチを「切」にしてください。

1. ふたをはずす

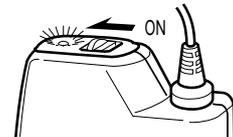


2. 電池を入れる



3. 電源スイッチを入れ乾電池の確認をする

電源表示灯が点灯すれば乾電池は正常です。



周波数の設定について

マイクと受信機(チューナーユニット)は、同じ周波数に設定してください。

同時に使用するマイクは、グループを全て同じにし、チャンネルを変えてください。[同グループ、異チャンネル]

(受信周波数表を参照)

グループについて

同じ場所で複数のマイクを同時に使用する場合は、1つのグループに統一して使用します。

学校の教室のように複数の部屋で使用する場合は、部屋ごとにグループを割り振ります。

- ・グループ 1~4最大6波まで。
- ・グループ 55波まで。
- ・グループ 61波まで。
- ・グループ 77波まで。ただし、隣接した部屋で他のグループのマイクは使えません。

15波同時使用の組み合わせは、グループ1~6の中から選定された周波数で構成されています。

設定方法については、9ページの「多チャンネル運用について」をご参照ください。

受信周波数表

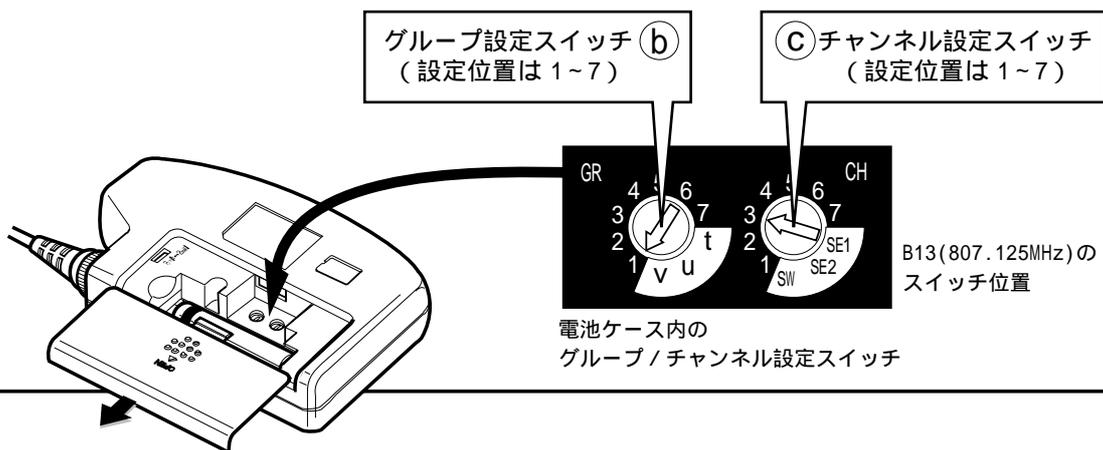
受信周波数 (0.125MHz間隔、30波)							
周波数 (MHz)	グループ(下2桁目)・チャンネル(下1桁目)						
	1	2	3	4	5	6	7
806.125	B11						B71
806.250		B21					
806.375	B12						B72
806.500		B22					
806.625			B31				
806.750				B41			
806.875			B32				B73
807.000		B23					
807.125	B13						
807.250						B61	
807.375			B33				
807.500				B42			B74
807.625					B51		
807.750	B14						
807.875		B24					
808.000				B43			
808.125					B52		
808.250			B34				
808.375					B53		
808.500		B25					B75
808.625			B35				
808.750					B54		
808.875		B26					
809.000	B15						
809.125				B44			
809.250			B36				
809.375				B45			B76
809.500	B16						
809.625					B55		
809.750				B46			B77

チャンネル呼称について

例

・グループ番号 1 B 1 3
 ・チャンネル番号 3 a b c

- (a)800MHz帯を表わす
- (b)グループ (GR) 番号を表わす
- (c)グループ内のチャンネル (CH) 番号を表わす

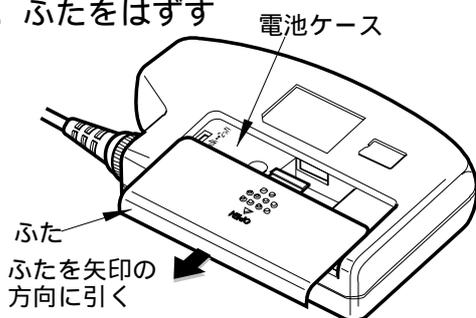


周波数の設定のしかた

周波数の設定

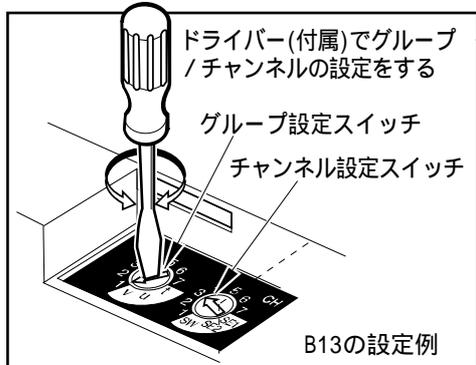
お願い
周波数を設定するときは、必ず電源スイッチを「切」にしてください。

1. ふたをはずす



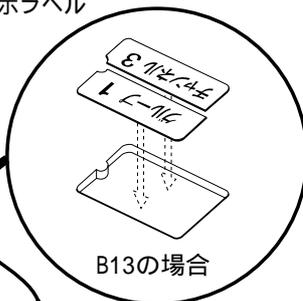
電池ケース内部にグループ/チャンネル設定スイッチがあります。電源スイッチを必ず「切」にしてから、電池ケースのふたを開けてください。

2. グループ/チャンネルを設定する



グループ/チャンネル設定スイッチ

チャンネル表示ラベル(付属)を貼る



B13の場合

設定したグループ、チャンネルと同じ表示ラベルを貼る

3. 電源スイッチを入れ、設定を確認する

電源スイッチを入れ、電源表示灯が点灯すれば設定したグループ/チャンネルは正常です。電源表示灯が早く点滅する場合は、周波数設定が正しくできていないこと(5ページの受信周波数表にないグループ、チャンネルに設定している)を表しています。必ず電源を切り再度周波数設定をしてください。

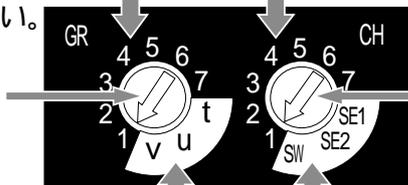


設定のしかた

グループ設定番号「1~7」
グループ番号を1~7の範囲内で設定してください。「t/u/v」位置には設定しないでください。

チャンネル設定番号「1~7」
チャンネル番号を1~7の範囲内で設定してください。「SE1/SE2/SW」位置には設定しないでください。

グループ設定スイッチ



チャンネル設定スイッチ

電池ケース内のグループ/チャンネル設定スイッチ

受信機適合設定位置「t/u/v」
初期設定は「u」です。ユニベックス社製受信機を使用の場合は設定の必要はありません。本機にユニベックス社製以外の受信機を使用すると、音質が悪くなるなど適合しないことがあります。そのような場合は8ページの「本機が受信機に適合しないとき」をご覧ください。

使用マイク設定位置「SE1/SE2/SW」
初期設定は「SE2」です。本機のマイクを通常に使用する場合は設定の必要はありません。本機のマイクを口元に近づけて使用したり、別売のマイクロホンを使用する場合は8ページの「別売マイクを使用するとき」をご覧ください。

送信出力切換スイッチについて

送信出力切換スイッチ

本機の送信出力は「2mW」と「6mW」に切り換えることができます。

出荷時は「2mW」に設定されています。用途、目的に応じてスイッチを切り換えてご使用ください。

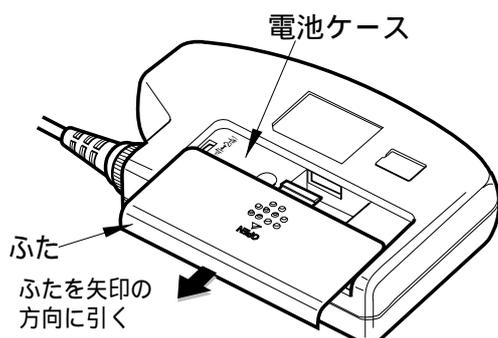
- ・通常使用時は「2mW」に設定してください。
- ・通達距離が必要な場合は「6mW」に設定してください。

(10ページ定格欄通達距離の項参照)

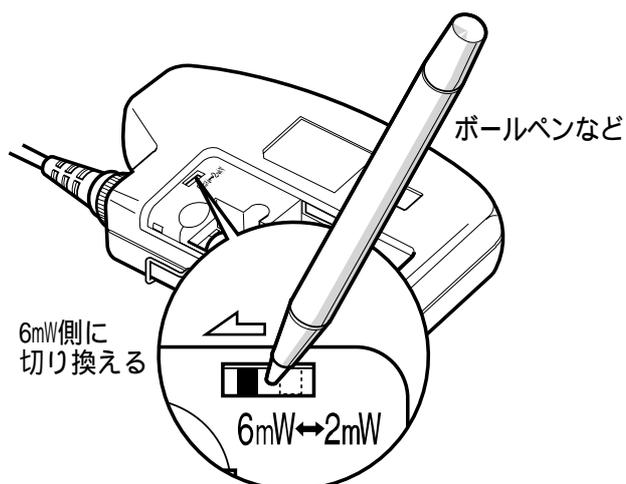
送信出力の切り換え方

お願い
送信出力を切り換えるときは、必ず電源スイッチを「切」にしてください。

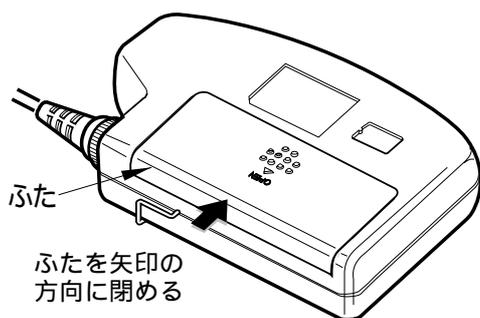
1. ふたをはずす



2. 送信出力切換スイッチを切り換える



3. ふたを閉める



4. 電源スイッチを入れる

電源スイッチを「ON」にする



別売マイクを使用するとき

本機に別売のマイクを使用する場合などは次の要領で設定をおこなってください。

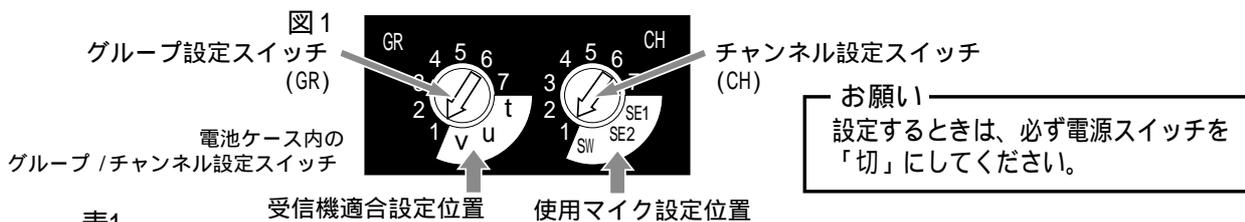


表1 受信機適合設定位置 使用マイク設定位置

設定位置(GR)	設定位置(CH)	マイク (例)	効果 (SE2と比較した場合)
u	SE1	ヘッドセットマイク HM-1000	感度「減少」マイク側のスイッチに非対応
u	SE2	本機のマイク	初期設定 マイク側のスイッチに非対応
u	SW	接話マイク ME-C11A	感度「減少」マイク側のスイッチに対応

- ・本機の電源スイッチを「切」にして、電池ケースのふたをはずす。(6ページの周波数の設定参照)
 - ・チャンネル設定スイッチをドライバー(付属)で使用するマイクの設定位置に合わせる。(図1、表1参照)
 - ・初期設定は「SE2」です。本機のマイクを通常に使用するときに適したマイク入力感度です。
 - ・「SE1」または「SW」に設定しますと、感度が減少します。比較的にマイクを口元に近づけて使用する場合に適したマイク入力感度になります。
 - ・「SW」設定時に限り接話マイク側の「ON/OFF」スイッチに対応します。
 - ・グループ設定スイッチをドライバー(付属)で「u」位置に合わせる。
 - ・本機の電源スイッチを0.5秒以上「入」にした後、再び「切」にしますと設定完了です。
 - ・本機のチャンネル設定スイッチを元のチャンネル位置に設定し、電池ケースのふたを閉める。
- ご注意 グループ・チャンネル設定スイッチは必ず元の位置(1~7)に戻すか、正しく設定してください。

本機が受信機に適合しないとき

本機にユニベックス社製以外の受信機を使用すると、音質が悪くなるなど適合しないことがあります。そのような場合は次の要領で設定をおこないますと音質不良などを改善できる場合があります。

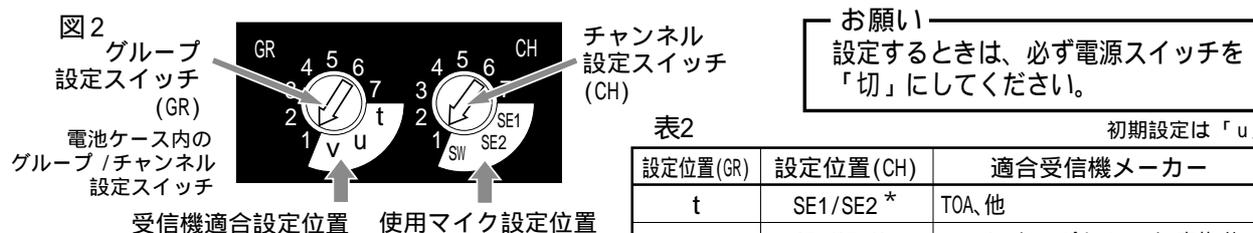


表2 初期設定は「u」

設定位置(GR)	設定位置(CH)	適合受信機メーカー
t	SE1/SE2 *	TOA、他
u	SE1/SE2/SW	ユニベックス、パナソニック、東芝、他
v	SE1/SE2 *	ビクター、他

受信機適合設定のしかた

- ・本機の電源スイッチを「切」にして、電池ケースのふたをはずす。(6ページの周波数の設定参照)
- ・グループ設定スイッチをドライバー(付属)で「t」または「v」のいずれかに合わせる。(図2、表2参照)
- ・チャンネル設定スイッチをドライバー(付属)で使用するマイクに合わせて「SE1」または「SE2」に設定します。使用されるマイクが本機のマイクの場合は「SE2」に、別売のヘッドセットマイクHM-1000の場合は「SE1」です。「SW」には設定できません。(前項の「別売マイクを使用するとき」参照)
- ・本機の電源スイッチを0.5秒以上「入」にした後、再び「切」にしますと設定完了です。
- ・グループ設定スイッチを元のグループ位置に設定し、電池ケースのふたを閉める。
- ・本機の電源スイッチを「入」にし、受信機に適合するかテストをおこなう。
- ・受信機に適合しないときは、販売店などにご相談ください。

ご注意 グループ・チャンネル設定スイッチは必ず元の位置(1~7)に戻すか、正しく設定してください。

多チャンネル運用について

15波同時使用対応機種

15波同時使用には、送信機・受信機・アンテナ・分配器がそれぞれ下記の15波同時使用対応機種である必要があります。

本機使用時は送信出力を「2mW」に設定してください。

対応機種 (2007年11月現在のものです)

- ・ワイヤレス送信機 WM-8030A, WM-8130A, WM-8240, WM-8330A,
WM-8100A, WM-8400
- ・ワイヤレス受信機 WTD-8121, 8141
- ・分配器 DWD-8240
- ・ワイヤレスアンテナ AA-800シリーズ, AA-C800シリーズ

表3

15波用白グループ対比表		
チャンネル	GR/CH	周波数 (MHz)
1	B11	806.125
2	B12	806.375
3	B31	806.625
4	B32	806.875
5	B13	807.125
6	B33	807.375
7	B51	807.625
8	B24	807.875
9	B52	808.125
10	B53	808.375
11	B35	808.625
12	B26	808.875
13	B44	809.125
14	B45	809.375
15	B55	809.625

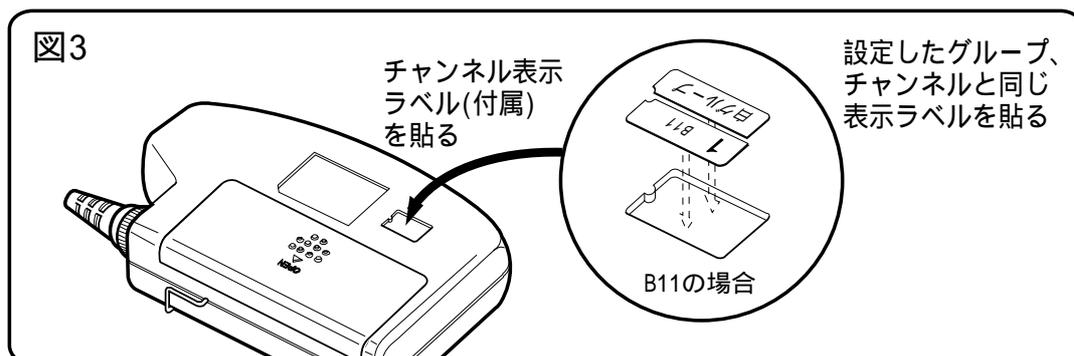
15波用青グループ対比表		
チャンネル	GR/CH	周波数 (MHz)
1	B21	806.250
2	B22	806.500
3	B41	806.750
4	B23	807.000
5	B61	807.250
6	B42	807.500
7	B14	807.750
8	B43	808.000
9	B34	808.250
10	B25	808.500
11	B54	808.750
12	B15	809.000
13	B36	809.250
14	B16	809.500
15	B46	809.750

チャンネルの設定

15波同時使用の組み合わせは、グループ1~6の中から選定された周波数で構成されています。(表3参照)

同時に使用するマイクは、同グループ(表3の白または青)・異チャンネルにしてください。ただし、隣接した部屋でほかのグループのマイクは使えません。

チャンネル表示ラベルを貼るとチャンネルを区別しやすくなります。(図3参照)

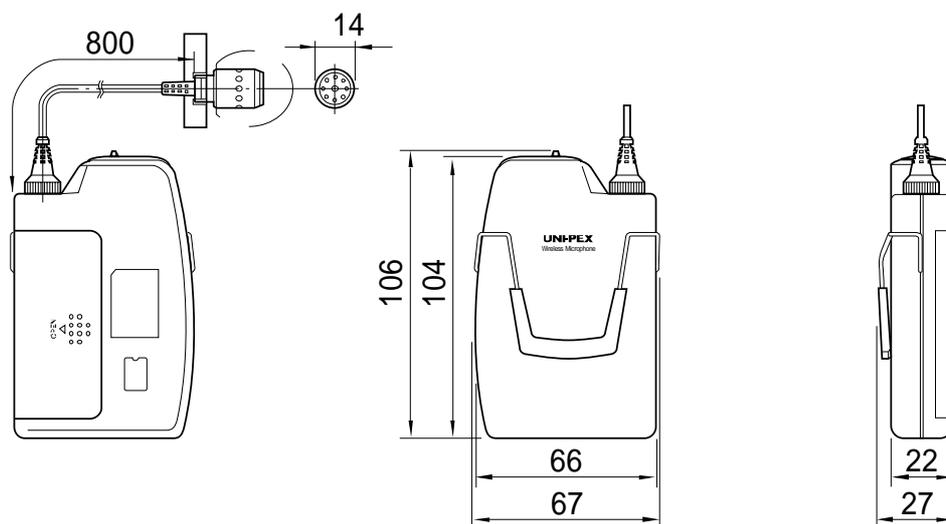


定格

電波形式	F3E
送信周波数	806.125MHz ~ 809.750MHz (125kHz間隔、30波)
発振方式	水晶制御 PLLシンセサイザー方式
変調方式	リアクタンス変調方式
空中線電力	2 mW / 6 mW 切換式
通達距離	約60m (2mW時)、約100m (6mW時) [電波を遮蔽しない環境条件にて]
アンテナ	内蔵アンテナ
変調感度	±5 kHzFM (SENS 1 : 90 dB SPL SENS 2 : 80 dB SPL 1kHzにて)
使用マイク	単一指向性エレクトレットコンデンサーマイクロホン
周波数特性	100 Hz ~ 10 kHz (1 kHz基準 50 μs エンファシス)
最大入力音圧	116 dB SPL
入力等価雑音	40 dB SPL以下 (Aカーブ)
使用電池	単三形乾電池 R 6 P (赤) または R 6 PU (黒) × 1
消費電流	45 mA (2mW時)、65 mA (6mW時)
電池寿命	約14時間 (2mW時)、約10時間 (6mW時) [R 6 P (赤) 使用時] 約18時間 (2mW時)、約14時間 (6mW時) [R 6 PU (黒) 使用時]
使用温度範囲	0° C ~ +40° C
寸法	本体 : 66(幅) × 104(長さ) × 22(厚さ)mm (突起部含まず) マイク部 : 14(径) × 25.5(長さ)mm マイク部と本体間線長 : 約800mm
質量	約120 g (乾電池含む)
外装	ストーンシルバー色樹脂 (マンセルN4.5近似色)
付属品	取扱説明書1、保証書1、チャンネル設定用ドライバー1、R 6 P(単三形乾電池 1、マイクホルダー1、マイククリップ1、ウインドスクリーン(風防)1、チャンネル表示ラベル1

外觀寸法図

(単位: mm)



製造元 日本電音株式会社
発売元 ユニペックス株式会社

RKTWM8100A-H0-0